「在宅酸素療法患者の周術期予後に関する検討」
のお知らせ

在宅酸素療法を受けている患者の多くは、慢性的な高度呼吸不全をおもちです。そのためこうした患者さんに、手術を行う際には、より一層の繊細な全身管理が必要であると思われます。しかし実際には、手術中の全身管理上の問題点や周術期予後に関する報告はあまり多くないのが現状です。そこで今回、こうした患者さんの周術期の経過を検討する研究を計画しました。

＜研究対象＞
2013 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までに当院で麻酔科管理手術を受けられた在宅酸素療法中の患者さんを対象とします。

＜研究期間＞2023 年 11 月 30 日までを予定しています。

＜研究内容＞
年齢、性別、身長、体重、既往歴、病名、術式、血液検査結果、在宅酸素療法の原因疾患・設定条件、術前呼吸状態、麻酔法、術中イベント、術後合併症、術後在院日数、退院時転帰などの情報を診療録などから収集します。

研究で集めるデータには患者さんのお名前や住所など個人を特定する情報は含まれません。研究結果はまとめて、学会や出版物として公表することがありますが、その場合でも個人情報が漏れることはありません。プライバシーは守られます。 本研究は当院の倫理・臨床研究審査委員会で承認されています。本研究の趣旨をご理解いただき本研究に参加をお願いします。もし参加を望まれない場合は研究から除外しますので担当医師にお申し出ください。ご協力いただけない場合でも、今後の診療に不利益はきたしません。また、ご質問がある場合も担当医師にお申し出ください。ご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

2020 年 10 月 5 日

京都桂病院　麻酔科　部長　小山　智弘
医師　深川　博志